

めに雪目的税などの法定外目的税()を導入する。

(手稲区・30歳代男性)

平成十二年度に施行された地方分権一括法で創設。地方税法による法定税目以外で、特定の費用に充てるため地方団体が一定の手続き・要件に従い課するもの。山梨県河口湖町などの三町村の「遊漁税」が全国初の導入。

市民の声を市政に生かす仕組みづくりが必要です

行政手腕の問われる時代です。情報公開を積極的に行い、市民の知恵を取り入れ生かしてください。

(南区・70歳代男性)

現在の財政危機は、国や地方自治体に大きな責任がありますが、私たちも財政に関心をもち、市民の声がもつと行政に届くようなシステムになれば、より良い札幌市になると思う。

(清田区・30歳代女性)

バランスシートを公表します

平成12年度決算の「バランスシート」を作成しています。

バランスシートとは、市の財政の全体像をとらえやすくするため、財務情報に民間企業が用いる「企業会計手法」を応用したものです。資産や負債などの情報を目的別に分類・対比させるなどの工夫をしています。

本誌4月号で、その概要を掲載します。

政策に優先順位を付けて不要不急のものは、思い切った削減することが必要であると思う。何を優先とするかは、広く市民の声を聞いてほしい。

(豊平区・40歳代男性)

「協働型社会」に向けた取り組みは大変良いと思います。

(清田区・50歳代女性)

どんな小さい事業であつても優先順位を付け、取捨選択して運営していくべきだと思います。そのためには事業評価と予算編成のプロセスの透明化などをもっと積極的に行いながら、市民からの意見を反映させる仕組みをつくることも必要です。

(西区・40歳代男性)

そのほかの意見

特集を読み驚くと同時に、これでは子供たちが借金を返すはめになり、今後このま

ま札幌に住み続けたいと考えるだろうが、とさえ思ってしまった。

(清田区・30歳代女性)

高速電車・国保会計への多額の繰り出し金のことが何ともやりきれないです。

(厚別区・50歳代女性)

財政危機の原因は、何といつても「建物主義」で動いてきた札幌市の欠陥ではないではしょうか。

(中央区・年齢不詳女性)

市の財政は、自分とはかけ離れたものと思っていました。でも、市民一人ひとりがもっと勉強すべきですね。

(西区・30歳代女性)

地下鉄の赤字はすごい金額だなと思う。札幌は東京と比べてもすごく高い料金だ。でも赤字だから料金の値上げというのは根本的に間違っていると思う。

(西区・30歳代女性)

「意見をお寄せいただいた方 計80人(1月15日現在)」

内訳 インターネット8件、Eメール2件、ファクス5件、電話3件、郵便(広報クイズの意見を含む)62件



札幌市長・桂 信雄

たくさんのご意見ありがとうございます

「札幌市の財政を考える」にたくさんのご意見をお寄せいただきました。

今回、ご紹介した声は、ほんの一部です。このほかにも、新しい時代のまちづくりを考える上で示唆に富む提言も数多くいただいています。皆様のご意見の一つ一つを、これからの行政運営に役立てていきたいと思えます。長引く不況の影響などから札幌市の財政状況は厳しさを増しています。また、

本格的な地方分権時代の到来など、社会の仕組みそのものが大きな変革期を迎えています。

このような状況に的確に対応していくため、市民・企業・行政など、さまざまな主体がパートナーシップを一層強めながら、まちづくりに取り組んでいくことが大切です。そこで、市では、現在の行財政改革に代わる新たな都市経営の基本方針を今年度中に策定する予定です。具体的には、市民・企業・行政などが「協働」でまちづくりを進めていく社会の実現を基本に置き、市役所はその一員として構造的な経営改革を行うという方向性を示していきたいと考えています。

私たちは、より一層行政に対する信頼を築いていくため、市民自治という観点から財政などの情報を公開し、説明責任を果たしていきます。今後ともさまざまな形でご意見をお寄せいただけますようお願いいたします。